

令和2年度版「小学道徳 生きる力」年間指導計画案6年【参考資料】

【「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」の考え方】

- ・各内容項目において2教材以上用意している項目については、1教材を挙げました。
- ・2教材以上用意している内容項目の教材であっても、教科書の構成上、第一教材や最終教材等は含めていません。
- ・「学習の手引き」のある教材については、すべて学校の授業で取り上げる教材としました。
- ・「評価の視点（具体的な見取りのポイント）」につきましては、弊社ウェブサイトにて公開の「令和2年度版 年間指導計画案」をご参照ください。

月	教材名		指導内容		主題名	ねらい	主な発問	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	学校での授業時数(23時間)
4月	1	スポーツの力	D	よりよく生きる喜び	ほこりある生き方	谷真海さんの、逆境を乗り越え前向きに生きる姿から、よりよく生きようとするこのすばらしさを理解し、自らも人間としてよりよく生きていこうとする心情を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ○谷真海さんの姿から、「誇りある生き方」について考えましょう。 ○右足を切断する手術を受けた谷さんは、どのような気持ちになったのでしょうか。 ○アテネパラリンピックに出場した谷さんはどんな思いをもつようになったのでしょうか。 ◎「もっと多くの人に、このすばらしさを広めていきたい。」という夢をもつ谷さんの生き方について考えてみましょう。 ○谷さんの姿から「誇りある生き方」について考えてみましょう。 ○尊敬する人のすごいところはどこでしょう。「誇りある生き方」について考えたことをまとめてみましょう。 ○先生が尊敬する人について話します。 ○教師自身の体験談を話し、身近にも「誇りある生き方」をしている人がいることに気づかせる。 		1
	2	命のアサガオ	D	生命の尊さ	せいっぱい生きる	限られた生命を力の限り生き抜こうとした光祐くんや、その思いを受け継ぎたいとアサガオを育てたお母さんの思いから、かけがえのない生命を大切にしようとする心情を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ○どんなときに「生きることの大切さ」を感じますか。 ○光祐くんは、どんな思いでつらい治療に耐えていたのでしょうか。 ○光祐くんが、病気になって初めて見せた涙にはどんな思いがあったのでしょうか。 ○アサガオを見て久しぶりに光祐くんの顔が輝いたとき、どんな気持ちだったのでしょうか。 ◎アサガオを大切に育てたお母さんの思いを考えてみましょう。 ○限りある命をもとに精一杯生きることについて、自分の考えをまとめてみましょう。 ○限りある命を精一杯生きた人の話や、教師の体験などを語る。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 どんなときに「生きることの大切さ」を感じるか、考える。 2 教材「命のアサガオ」(P8～)を読む。 3 つらい治療に耐える光祐くんの思いについて考える。 4 病気になって初めて涙を見せたときの光祐くんの思いについて考える。 5 アサガオを見て久しぶりに顔が輝いたときの光祐くんの気持ちを考える。 6 アサガオを大切に育てたお母さんの思いを考え、道徳ノートP3上段に書く。 7 限りある命を精いっぱい生きることについて、自分の考えを道徳ノートP3下段にまとめる。 	
	3	ほんとうのことだけど……	A	善悪の判断, 自律, 自由と責任	自由と責任	なつみの記事の内容を「もう一度考えてみようよ。」と言ったみえ子の思いを考えると、自由にも許されることと許されないことがあることを理解し、自律的な行動をしようとする心情を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ○「自由」と聞いて、どんなことを想像しますか。 ○今日は「自由と責任」について考えていきましょう。 ○なつみに、「自由に考えていいんでしょ。ほんとうのことだし。」と言われ、迷ってしまったみえ子はどんな思いだったのでしょうか。 ◎すっきりしない気持ちでいたみえ子が、去年の記事を読んで、「もう一度考えてみようよ。」となつみに言ったのは、どのような考えからでしょうか。 ○グループになって、この状況を解決する方法やそのもとになる思いを出し合ってみましょう。 ○グループで話し合ったことをもとに、「自由と責任」について、どんな考え方が大切か、学級全体で話し合ってみましょう。 ○自由と責任について、自分なりの考えをまとめてみましょう。 ○教師が自律的に判断し、責任ある行動をした体験を語る。 <p>-----</p> <p>【参考指導案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「自由」と聞いて、どんなことを想像しますか。 ○なつみの記事を見て、思わずぶっと吹き出してしまったみえ子の気持ちを考えましょう。 ○なつみに、「自由に考えていいんでしょ。ほんとうのことだし。」と言われ、(ほんとうのことだけど……。)と迷ってしまったみえ子はどんな思いだったのでしょうか。 ◎すっきりしない気持ちでいたみえ子が、去年の記事を読んで、もう一度考えてみようよ。」となつみに言ったのは、どのような考えからでしょうか。 ○「自由と責任」について、自分なりの考えをまとめてみましょう。 ○教師が自律的に判断し、責任ある行動をした体験を語る。 		1

月	教材名	指導内容	主題名	ねらい	主な発問	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	学校での授業時数(23時間)	
5月	4	それじゃ、ダメじゃん	A 個性の伸長	長所と短所	「それじゃ、ダメじゃん。」という言葉に込められた昇太さんの思いを考えていくことを通して、短所を改め長所を伸ばしていこうとする心情を育てる。	○自分の特徴を考えてみましょう。 ○中学生の頃、「ぼく」はどのような気持ちから短所を隠そうとしたのでしょうか。 ○大学で落語研究部に入った「ぼく」は、どのような思いから短所を直し、生かすことをやっていたのでしょうか。 ◎「それじゃ、ダメじゃん」という言葉には、昇太さんのどんな思いが込められているでしょうか。 ○自分のよさで、さらに伸ばしたいと思っていることはありますか。 ○昇太さんが、自身の体験から短所も長所になると語ったメッセージを流す。	1	
	5	言葉のおくり物	B 友情, 信頼	男女ともしんらいして	すみ子から一郎への言葉のおくり物を聞いた学級の子どもの思いを考えると、互いのよさを認め合い、男女が仲よく友情を育てていこうとする態度を養う。	○男女仲よく信頼し合って生活するには、どんな思いをもつことが大切でしょうか。 ○一郎は、どんな気持ちからすみ子に対して怒った態度をとったのでしょうか。 ○リレーで失敗したたかしをかばい、力づけるすみ子を一郎はどのように思ったのでしょうか。 ◎教室のあちこちから拍手が起こったとき、一郎やみんなはどんな思いになったのでしょうか。 ○男女仲よく信頼し合って生活するには、これからどんな心構えが必要なのでしょうか。 ○教師自身の小学校時代の男女仲よく過ごした体験を語る。	1 男女仲よく信頼し合って生活するには、どんな思いをもつことが大切か、考える。 2 教材「言葉のおくり物」(P22～)を読む。 3 すみ子に対して怒った態度をとったときの一郎の気持ちを考える。 4 リレーで失敗したたかしをかばい、力づけるすみ子に対する一郎の気持ちを考える。 5 教室で拍手が起こったときの一郎やみんなの思いについて考え、道徳ノートP6上段に書く。 6 男女が仲よく信頼し合って生活するために必要な心構えについて考え、道徳ノートP6下段に書く。	
	6	母の仕事	C 勤労, 公共の精神	働くことの意義	自分の仕事に大きな喜びと満足感をもっている母の姿を通して、働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って、公共のために役立つことをしようとする心情を育てる。	○働いて社会の役に立つということについて考えましょう。 ○「私」が「お仕事やめればいいのに。」と言ったのは、どんな気持ちからでしょう。 ○お母さんの話を聞きながら、「私」はどのような思いをもったのでしょうか。 ◎仕事に対して大きな喜びと満足感をもっている母の姿を見て、「私」は仕事に対する母のどんな思いを知ったのでしょうか。 ○働くことの意義について、考えてみましょう。 ○みんながふだん、みんなのために仕事をしている姿を見てみましょう。		1
7	おかげさまで	B 感謝	感謝の心	「おかげさまで…。」の意味を考えると、自分の日々の生活を見つめ、それが有形無形に関わらず多くの人々の力によって成り立っていることに気づき、そのことに感謝し、応えようとする心情を育てる。	○「おかげさま」と言われたとき、どのような気持ちになりますか。 ○「おかげさまで」という祖母の口癖について、「ぼく」はどのようなことを感じていたのでしょうか。 ○お父さんから「おかげさまで」の意味や公園の話聞いたとき、「ぼく」はどのようなことを思ったのでしょうか。 ○電話している祖母の声がはずんで聞こえたとき、「ぼく」はどのようなことを感じていたのでしょうか。 ◎祖母への思いが変わっていったのは、「ぼく」がどんなことに気づいたからでしょう。 ○生活の中で、「おかげさまで」と思ったことを発表しましょう。 ○いろいろな人たちのおかげで過ごすことができている身近な経験を語る。		1	

月	教材名	指導内容	主題名	ねらい	主な発問	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	学校での授業時数(23時間)
6月	8 ぼくのお茶体験	C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	伝統の心づかい	相手を敬ったり、気遣ったりする気持ちを形として表す作法の意義を理解し、受け継がれてきた我が国の伝統や文化のよさを感じ、大切にしようとする心情を育てる。	○「伝統の心遣い」と聞いて、どのようなことを想像しますか。 ○「ほっ……。」とした「ぼく」は、どんなことを考えていたでしょう。 ○高木先生に質問した「ぼく」は、どのような気持ちから作法にこだわらなくてもよいと思っていたのでしょうか。 ◎大きくうなずいたとき、「ぼく」はどんなことに気づいたのでしょうか。 ○「伝統の心遣い」について、今日の学習から学んだことについてまとめましょう。 ○日本の伝統や文化のよさを受け継ぎ、大切にしていることについて話す。	1 「伝統の心遣い」と聞いて、想像したことを挙げる。 2 教材「ぼくのお茶体験」(P36～)を読む。(インターネットを活用できる場合、日本文教出版ホームページ所収のデジタルコンテンツ「茶道の作法」(動画)を視聴する。) 3 「ほっ……。」としたとき、「ぼく」はどんなことを考えていたか、考える。 4 作法にこだわらなくてもよいと思った「ぼく」の気持ちを考える。 5 大きくうなずいた「ぼく」が気づいたことを道徳ノートP9上段に書く。 6 「伝統の心遣い」について、今日の学習から学んだことについて、道徳ノートP9下段にまとめる。	
	9 心づかいと思いやり	B 親切、思いやり	思いやりの心	思いを思いやりに変えるにはどうしたらよいか考えることを通して、誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場になって行動しようとする意欲を高める。	○あなたは、今までどんな思いで、思いやりのある行動をしてきましたか。 ○詩「行為の意味」を読んでどう思いましたか。 ○電車につえをついた人が乗ってきました。あなたなら、このような場面でどうしますか。そのときは、どんな気持ちになりますか。 ○人と人が接するとき、どのような心構えをもつことが大切でしょう。 ○「思いやりの心」について、学んだことをまとめてみましょう。 ○困っている人を助けず後悔した経験を語る。 【参考指導案】 ○「思いやり」とは、どんな心を表す言葉だと思いますか。 ○詩「行為の意味」を読みます。読んだあと、空いている詩の一部には、どんな言葉が入るか考えましょう。 ○詩「行為の意味」をあらためて読んで、思ったことや感じたこと、または、印象に残った言葉はありますか。 ◎「思いは見えないけれど、思いやりは見える」「心は見えないけれど、心づかいは見える」とは、どんな行動について表しているか具体的な行動についてグループで話し合しましょう。 ○学習を通して、学んだことをまとめましょう。 ○思いやりのある行動をしたことや、してもらったことを振り返り、児童に話す。		1
	10 東京オリンピック国旗にこめられた思い	C 国際理解、国際親善	その国のほこりと伝統	東京オリンピックに向けて国旗作りに情熱を注いだ吹浦さんの思いを考えることで、他国の文化について理解を深め、進んで国際親善に努めようとする態度を養う。	○国と国とが理解し、互いに尊重し合うには、どのような「心」が大切でしょう。 ○東京オリンピックで国旗作りを任されることになった吹浦さんは、どんな気持ちだったでしょう。 ○アイルランドの国旗を何度作り直しても認められなかった吹浦さんは、どんな気持ちだったでしょう。 ○アイルランドの国旗としてようやく認めてもらったとき、吹浦さんはどんな気持ちになったのでしょうか。 ◎東京2020オリンピック・パラリンピックに受け継がれる「思い」とは、どんな思いでしょう。 ○他国の人々や文化について理解するには、どんな心をもつことが大切でしょう。 ○国際理解に関連した世の中の出来事を紹介する。	1 国と国とが理解し、互いに尊重し合うためには、どのような「心」が大切か、考える。 2 教材「東京オリンピック 国旗にこめられた思い」(P44～)を読む。 3 国旗作りを任されることになった吹浦さんの気持ちを考える。 4 アイルランドの国旗を何度作り直しても認められなかったときの吹浦さんの気持ちを考える。 5 ようやく認めてもらったときの吹浦さんの気持ちを考える。 6 東京2020オリンピック・パラリンピックに受け継がれる「思い」とは、どんな「思い」か、道徳ノートP11上段にまとめる。 7 他国の人々や文化について理解するためには、どんな心をもつことが大切か考え、道徳ノートP11下段に書く。	
7	11 緑の闘士 ワンガリ・マータイ	D 自然愛護	持続可能な社会	「もったいない」という言葉を広め、自然環境保護活動に取り組むマータイさんの姿を通して、日々の生活の小さな努力や工夫によって、かけがえのない自然環境を大切にしようとする態度を養う。	○「もったいない」という言葉を聞いて、どのようなことを思いますか。 ○自然を破壊した影響が出始めたのを見て、マータイさんは、どのような気持ちになったでしょう。 ○マータイさんが、石を投げられてけがをしてまでも頑張ろうとしたのは、どのような思いからでしょう。 ◎マータイさんは、「もったいない」という言葉をどのように考え、自然環境保護活動に取り組んだのでしょうか。 ○身近な自然環境を守るためには、私たち一人一人にとって、どのような心構えが大切なのでしょう。 ○教師が行っている環境に対しての取組を紹介する。		1

月	教材名	指導内容	主題名	ねらい	主な発問	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	学校での授業時数(23時間)
月	12 カスミと携帯電話	A 節度, 節制	たいせつな生活リズム	携帯電話のけじめのない使い方によって生活リズムが狂ってしまうこともあることから, 自分の生活習慣を見つめ直し, 節度を守って生活していこうとする判断力を養う。	○毎日同じリズムや生活習慣で生活できていますか。 ○レイナとのメッセージのやり取りで夜更かししているとき, カスミはどのような気持ちだったでしょう。 ○重い足取りで帰っていくレイナの姿を, カスミはどんな気持ちで見送っていたのでしょうか。 ◎カスミはどんな考えから, お母さんに携帯電話を返したのでしょうか。 ○毎日同じリズムで生活するためには, どんなことに気をつければよいでしょう。 ○単に携帯電話を否定的に扱うのではなく, 社会問題になっている事例などを話し, 使い手の意志の大切さについて児童が考えられるように話す。	1 自分の生活習慣について振り返る。 2 教材「カスミと携帯電話」(P52～)を読む。 3 夜更かししているときのカスミの気持ちを考える。 4 重い足取りで帰っていくレイナの姿を見送ったときのカスミの気持ちを考える。 5 お母さんに携帯電話を返したとき, カスミはどんなことを考えたと思うか, 道徳ノートP13上段に書く。 6 毎日同じリズムで生活するために気をつけることについて考え, 道徳ノートP13下段に書く。	
9月	13 ぼくたちの学校	C よりよい学校生活, 集団生活の充実	学校を愛する心	今までは当たり前にあった学校がなくなるという悲しみの中で, 母校があることの喜び, 母校への愛着の意味を再確認することから, よりよい学校をつくらうとする態度を養う。	○自分たちの学校のよさって何でしょう。 ○今までとは違う校舎, バスでの登下校, 廊下にある図書館, パネルで仕切られた教室で, 史哉は何を思ったのでしょうか。 ○帰りのバスの中で, 1年生の子が泣きだしたとき, 史哉はどのような気持ちになったのでしょうか。 ◎バスの中でゆう君に「ぼくたちのいるところが学校なら, このバスの中も学校だね。」と言われたとき, 史哉は, どんなことを考えたのでしょうか。 ○バスの中で, 史哉は, どんな気持ちで校歌を歌ったのでしょうか。 ○学校のために取り組んできたこと, これから取り組んでいきたいことは何ですか。 ○卒業生からみなさんへメッセージが届いています。	1 自分たちの学校のよさについて考える。 2 教材「ぼくたちの学校」(P58～)を読む。 3 隣の小学校を借りて勉強することになった史哉の思いについて考える。 3 1年生の子が泣きだしたときの史哉の気持ちを考える。 4 「このバスの中も学校だね。」と言われたとき, 史哉はどんなことを考えたと思うか, 道徳ノートP14上段に書く。 5 バスの中で校歌を歌う史哉の気持ちを考える。 6 学校のために取り組んできたこと, これから取り組んでいきたいことを考え, 道徳ノートP14下段に書く。	
	14 地球を一周歩いた男ー伊能忠敬ー	A 真理の探究	真理を求める心	誰もしたことがないことを成し遂げるには, 現状に満足するのではなく, 改良したり, 発展させようとしたりする思いが必要だと気づき, 真理を探究しようとする心情を育てる。	○伊能忠敬について知っていることを発表しましょう。 ○忠敬が酒屋を息子に譲り, 学問を始めたのはどんな気持ちからでしょう。 ○「西洋の本をほんやくして調べたらいいではないか。」という仲間もいたのに, それをしなかった忠敬はどんな思いだったのでしょうか。 ◎忠敬を測量に駆り立てた思いとは何なのでしょう。 ○真理を求め続けるには, どんな思いが必要でしょう。 ○真実を追究した人の姿を描いた本を紹介する。		1
	15 初めてのアンカー	C 家族愛, 家庭生活の充実	家族の幸せ	まきと家族とのやりとりから, 家族が互いのことを思い合い, みんなの幸せを願っていることに気づき, 自分も家族の一員として役立とうとする心情を育てる。	○「家族の幸せ」と聞いてどのような印象をもちますか。 ○まきは, どんな気持ちであさみにVサインをしたのでしょうか。 ○涙が頬を伝って落ちていったときのまきは, どんなことを思っているのでしょうか。 ○肩を落として玄関を出て行くお父さんは, どんなことを思っていたのでしょうか。 ◎「お父さん, 待ってー。」と言いながら, まきはどんな思いで, 玄関を飛び出したのでしょうか。 ○今日の学習を通して, 自分と家族の在り方, 家族の一員としての在り方を考えてみましょう。 ○家族から手紙が届いています。読んでみましょう。		1
16 上村さんのちょうせんーひさい犬と共にー	A 希望と勇気, 努力と強い意志	あきらめない心	難しいからと初めから諦めるのではなく, 難しいことだからこそ頑張ることにやりがいを感じられることに気づき, 何事にも挑戦しようとする心情を育てる。	○災害救助犬を知っていますか。 ○上村さんは, じゃがいもを災害救助犬にしようと思ったとき, どんなことを考えたでしょう。 ○「服従」ができたことで, 必ず合格できると手応えを感じたとき, 上村さんはどんなことに喜びを感じたのでしょうか。 ○じゃがいもは11回目のテストで合格しましたが, もしすぐに合格していたら, 同じようにやりがいを感じたのでしょうか。 ◎非難されたり, うまく導けなかったりしたなかで, 上村さんを支えていた思いは何でしょう。 ○いろいろなことに挑戦し続けるには, どんな考えをもつことが大切でしょう。 ○教師になる目標を達成するまで努力した自分自身の体験談を聞かせる。	1 災害救助犬について知っていることがあるか, 思い浮かべる。 2 教材「上村さんのちょうせんーひさい犬と共にー」(P72～)を読む。 3 じゃがいもを災害救助犬にしようと思ったとき, 上村さんはどんなことを考えたか, 考える。 4 必ず合格できると手応えを感じたときの上村さんの気持ちを考える。 5 じゃがいもがもしテストですぐに合格していたら, 上村さんは同じようにやりがいを感じたか, 考える。 6 非難されたり, うまく導けなかったりしたなかで, 上村さんを支えていた思いについて考え, 道徳ノートP17上段に書く。 7 いろいろなことに挑戦し続けるためには, どんな考えをもつことが大切か, 道徳ノートP17下段にまとめる。 □		

月	教材名	指導内容	主題名	ねらい	主な発問	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	学校での授業時数(23時間)
10月	17 ぼくだって	B 相互理解, 寛容	相手を理解する心	相手のことを理解することが難しいのは、自分を相手と同じ立場に置くことが難しいからで、それができれば自分と相手はそう変わらないと思えることから、相手を尊重しようとする態度を養う。	○友達の失敗を許せなかったことはありますか。 ○空気の重い控え室で、不機嫌な顔のヒサシを見て、「ぼく」は、どんな気持ちになったのでしょうか。 ○手にぎゅっと力が入った「ぼく」は、どんな思いだったのでしょうか。 ◎「またいっしょに練習をしよう。」と言う「ぼく」はどんな気持ちや思いになっているのでしょうか。 ○相手の気持ちを理解し、失敗を許した経験について発表しましょう。 ○今日の学習から、相手の失敗で腹が立ったときに大切なことはどんなことだと思いますか。自分の考えをまとめましょう。	1 友達の失敗を許せなかった経験を思い浮かべる。 2 教材「ぼくだって」(P76～)を読む。 3 空気の重い控え室で、不機嫌な顔のヒサシを見たときの「ぼく」の気持ちを考える。 4 手にぎゅっと力が入ったときの「ぼく」の思いについて考える。 5 「またいっしょに練習をしよう。」と言う「ぼく」の気持ちや思いについて考え、道徳ノートP18上段に書く。 6 相手の気持ちを理解し、失敗を許した経験を思い浮かべながら、今日の学習から学んだ、相手の失敗で腹が立ったときに大切なことについて、自分の考えを道徳ノートP18下段にまとめる。	
	18 ロレンゾの友達	B 友情, 信頼	ほんとうの友達	3人それぞれの対応の在り方やそれぞれの考えについて足りない点を考えるなかで、よりよい友達関係を構築するためには、信じるのが大切であることに気づき、互いに信頼し、友情を深めようとする心情を育てる。	○本当の友達とは、どんな友達でしょう。 ○ロレンゾから「再会したい」という手紙をもらって相談する3人は、どんな気持ちになっているでしょう。 ○眠れないまま夜を明かした3人は、どんなことを考えていたのでしょうか。 ◎かしの木の下で話し合ったことを口にしなかったのは、3人にどんな思いがあったからでしょう。 ○もう一度、本当の友達とは、どんな友達のことか考えてみましょう。 ○教師自身の友情観などを押しつけにならないように話す。		1
	19 天下の名城をよみがえらせるー姫路城ー	C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	ほこりある郷土	祖父の語りを聞いたひろみの驚きを通して、先人の知恵のすばらしさを理解し、郷土や我が国の伝統文化を受け継ぎ、後世に残すために大切にしようとする心情を育てる。	○ふるさとの誇りと言えるものにどんなものがありますか。 ○姫路城を解体して、いよいよ修復工事が始まる時、現場に集まった大工さんたちはどんな気持ちだったでしょう。 ○加藤さんたちが日本中の山の中を探し、やっとの思いで見つけたヒノキが運ぶ途中で折れたとき、みんなどんな気持ちだったでしょう。 ○和田さんは、どんな思いを込めて、「あきらめてはいけない。」「木に、たましいをふきこんでみせる。」と言ったのでしょうか。 ◎もう一度じっと姫路城を見つめるひろみは、どんなことを考えていたのでしょうか。 ○ふるさとの誇りを、地域の人たちが大切に守り続けている思いを考えてみましょう。 ○みなさんが、大切にしたいふるさとの誇りは何でしょう。		1
	20 手品師	A 正直, 誠実	誠実に生きる	大劇場のステージに立てるチャンスを断り、男の子との約束を守った手品師の誠実さに触れることで、どのような状況にあっても、常に誠実に行動し、明るい生活をしようとする心情を育てる。	○「手品師」というお話を通して、「誠実」ということについてみんなで考えましょう。 ○迷いに迷ったときの手品師の場面を役割演技し、手品師の気持ちを考えましょう。 ◎どんな思いから、手品師は男の子との約束を選んだのでしょうか。 ○たった一人のお客様を前に手品師はどんな気持ちで手品を演じていたでしょう。 ○この学習を通して、「誠実に生きる」ということについて、自分の思いをまとめましょう。 ○自分の心に誠実に行動することが、明るく生きることにつながった教師の体験談を話す。 ----- 【参考指導案】 ○「手品師」が主人公となるお話です。彼を少し紹介します。 ○男の子と約束をした手品師は、どんなことを考えていたでしょう。 ○迷いに迷っている手品師の気持ちについて考えましょう。 ○チャンスを見過ごして、男の子との約束を果たそうと決心する手品師。その決め手となった思いは何でしょう。 ◎たった一人のお客様の前で、手品を演じているときの手品師は、どんな気持ちだったでしょう。 ○この学習を通して、どんな生き方が大切だと思いましたか。 ○自分の心に誠実に行動することが、明るく生きることにつながった教師の体験談を聞かせる。		1

月	教材名	指導内容	主題名	ねらい	主な発問	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	学校での授業時数(23時間)
11月	21 エルトゥールル号ー日本とトルコのつながりー	C 国際理解, 国際親善	他国との心のつながり	エルトゥールル号の遭難を契機とした交流の歴史を知り, どの国の人々も同じ人間として尊重し, 国際親善に努めようとする心情を育てる。	○日本と関係が深い国の一つにトルコがあります。そのつながりについて学びましょう。 ○樫野の人たちは, どんな思いからトルコの人たちを助けたのでしょうか。 ○イラン・イラク戦争のとき, 自分たちより日本人を優先してくれたのはどんな気持ちかはたらいたからでしょう。 ◎日本とトルコをつないでいる絆とは, どんな心なのでしょう。 ○他国や他国の人々と絆を深めるためには, どんな考えが必要でしょう。 ○教師の外国旅行の経験など, 他国の人と交流した体験を聞かせる。		1
	22 その思いを受けついで	D 生命の尊さ	生命のつながり	私たちの生命は, さまざまな人とのつながりや支え合いの中で生まれ, 子どもや孫へと受け継がれていくかけがえのないものであるということに気づき, 自他の生命を尊重し, 力強く生きていこうとする心情を高める。	○「命はつながっている」と感じるのはどんなときでしょう。 ○じいちゃんの命が「あと三か月」と聞いて, 声を上げて泣いたとき「ぼく」はどんな気持ちだったのでしょうか。 ○「ぼく」はどんな思いから, 放課後にみんなと遊ぶのをやめて毎日欠かさず病院に行ったのでしょうか。 ◎しわくちゃんのし袋を見たとき, 「ぼく」はどんな思いだったのでしょうか。 ○先祖から受け継いできた生命を大切にするとはいくどういうことでしょうか。 ○命のつながりについて話をする。		1
	23 団地と子犬	C 規則の尊重	よりよいいきまり	規則は, そのことに関わる人々が幸せに生活できるようにという願いを込めて人が作ったものであることを理解し, その一員としての自覚と責任をもって, 進んで守ろうとする態度を養う。	○規則とは絶対に変えられないものなのでしょうか。 ○なぜ団地では動物を飼ってはいけないという規則があるのでしょうか。 ○子どもたちはどんな気持ちで規則を変えてもらおうとお願いに行ったのでしょうか。 ◎団地の人たちは, 規則についてどのように考え, 規則を変えたのでしょうか。 ○規則とはどういうものなのでしょうか。 ○学校だけでなく, 社会の規則はどうやって作られているかについての話をします。	1 規則は絶対に変えられないものかどうか, 考える。 2 教材「団地と子犬」(P104～)を読む。 3 団地では動物を飼ってはいけないという規則がある理由について考える。 3 子どもたちはどんな気持ちで規則を変えてもらおうとお願いに行ったのか, 考える。 4 団地の人たちは, 規則についてどのように考え, 規則を変えたのかについて, 自分の考えを道徳ノートP24上段に書く。 5 規則とはどういうものかについて考え, 道徳ノートP24下段に書く。	
	24 青の洞門	D 感動, 畏敬の念	美しい心	21年の歳月を洞門を掘ることだけに費やした了海の美しく気高い心と, その心に触れることで復讐心を忘れて感激した実之助の心を通じて, 美しい心に感動する心情を育てる。	○大分県にある「青の洞門」が舞台になったお話です。 ○了解に巡り会ったとき, 実之助はどんな気持ちだったでしょう。 ○父親のかたきである了海を討とうとしていた実之助は, 共に手を取り合い, 涙を流しながら, どんなことを考えたのでしょうか。 ◎実之助の心の変化から, 「美しい心」とは, どのような心なのか考えてみましょう。 ○「美しい」と感動した体験について発表しましょう。 ○自分の損得にこだわらず, どこまでも人のために生きる人物の話を紹介する。		
					【参考指導案】 ○最近, 何かに感動したことや心を動かされたことについて発表しましょう。 ○どんな生き方が人の心を動かすのか考えてみましょう。 ○どんな場面が心に残りましたか。 ◎了海と実之助が共に手を取り合って感激の涙を流したとき, 了海の手を固く握りながら実之助はどんなことを思っていたのでしょうか。 ○了海のどのような生き方が実之助の心を動かしたのでしょうか。 ○自分の損得よりも人のためにと考えた生き方や, 一つの目標に向かって粘り強くやり遂げる生き方に心を動かされたことを思い起こしてみよう。 ○今日の学習で大切だと思ったことや今の気持ちを道徳ノートにまとめましょう。		1

月	教材名	指導内容	主題名	ねらい	主な発問	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	学校での授業時数(23時間)
12月	25 自由行動	A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	自由の難しさ	自由とは, 自分本位の考え方で行動してもよいということではないことに気づき, 自由を生かすことについての考えを深め, 自律的な行動をとろうとする態度を養う。	<p>○「自由行動」という言葉からどんなことを想像しますか。</p> <p>○話し合いがうまくまとまらず, 時間だけが過ぎていくとき, 班長のマサキはどんなことを考えていたのでしょうか。</p> <p>◎マサキは, まだ真っ白な「自由行動計画表」を見ながら, どんなことを考えていたのでしょうか。</p> <p>○「自分たちの役に立つ自由行動にしようよ。」とマサキが言ったのは, どんな思いになったからでしょう。</p> <p>○班長のマサキの話を聞いて, グループのみんなはどんなことを考えたのでしょうか。</p> <p>○みんなが満足する「自由」とは, どんな「自由」なのでしょう。</p> <p>○今日の学習で学んだこと, 感じたこと, 考えたことをまとめましょう。</p>	<p>1 「自由行動」という言葉から想像することを挙げる。</p> <p>2 教材「自由行動」(P116～)を読む。</p> <p>3 話し合いがうまくまとまらず, 時間だけが過ぎていくとき, 班長のマサキはどんなことを考えたか, 考える。</p> <p>4 まだ真っ白な「自由行動計画表」を見ながらマサキが考えていたと思うことを, 道徳ノートP26上段に書く。</p> <p>5 「自分たちの役に立つ自由行動にしようよ。」と言ったときのマサキの思いについて考える。</p> <p>6 班長のマサキの話を聞いたときのグループのみんなはどんなことを考えたか, 考える。</p> <p>○みんなが満足する「自由」とは, どんな「自由」なのか, 今日の学習で学んだこと, 感じたこと, 考えたことを道徳ノートP26下段にまとめる。</p>	
	26 杉原千畝 —大勢の人の命を守った外交官—	C 公正, 公平, 社会正義	社会正義の実現	政府の命令に背いてまでビザを書き続けた千畝の思いを考えると通して, 誰に対しても公正, 公平な態度で接し, 社会正義の実現に努めようとする心情を育てる。	<p>○杉原千畝について, 知っていることはありますか。</p> <p>○日本を通過するための許可を求めるユダヤ人たちに対して, 「許可を出すことはできません。」と言うしかなかった千畝の気持ちを考えましょう。</p> <p>○何度頼んでも日本政府から許可が出なかったとき, 千畝はどんな思いをもっていたのでしょうか。</p> <p>◎ビザを書き続けた千畝を支えていたのは, どのような思いでしょう。</p> <p>○正義の人とは, どんな思いや考えをもった人でしょう。</p> <p>○千畝のビザによって助かったユダヤ人の子孫の思いを紹介する。</p>	<p>1 杉原千畝について, 知っていることがあるか, 思い浮かべる。</p> <p>2 教材「杉原千畝—大勢の人の命を守った外交官—」(P120～)を読む。</p> <p>3 ユダヤ人たちに対して, 「許可を出すことはできません。」と言うしかなかった千畝の気持ちを考える。</p> <p>4 何度頼んでも日本政府から許可が出なかったときの千畝の思いについて考える。</p> <p>5 ビザを書き続けた千畝を支えていた思いについて考え, 道徳ノートP27上段に書く。</p> <p>○正義の人とは, どんな思いや考えをもった人だと思うか, 自分の考えを道徳ノートP27下段に書く。</p>	
27 人間をつくる道 —剣道—	B 礼儀	れいぎ正しさ	勝敗のみにこだわった「ぼく」が, 「礼に始まり礼に終わる」という, 相手を敬い, 尊重する気持ちを示すことの意義について考えたことから, 礼儀正しく真心をもって接しようとする態度を養う。	<p>○「礼儀正しい」人を見たとき, どんな気持ちになりますか。</p> <p>○厳しい稽古の中, 「ぼく」は「礼」に対してどのように思っていたのでしょうか。</p> <p>○試合に負け, ふてくされた態度で行った引き上げを先生に叱られたとき, 「ぼく」はどんなことを考えていたのでしょうか。</p> <p>○大人の試合を見て, 「ぼく」はどんな気持ちになったでしょう。</p> <p>◎「人間をつくる道……か。」という「ぼく」は, どんなことに気づき始めているのでしょうか。</p> <p>○「礼儀正しさ」とはどんなことか, 学んだことや考えたことをまとめましょう。</p> <p>○形だけではなく, 心を込めた「礼儀正しい行い」をした際に感じたすがすがしい気持ちについて語る。</p>		1	

月	教材名	指導内容	主題名	ねらい	主な発問	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	学校での授業時数(23時間)
1月	28	自分を守る力って？	A 節度, 節制	自分を守る力	<p>自分を守る力とは、どのようなことなのかをさまざまな場面で考えることを通して、危険から身を守るためにはどのようにすればよいかを考え、節度ある生活をしようとする態度を養う。</p> <p>○自分を守るとは、どのようにすることでしょう。 ○みんなで「自分を守る」ことについて考えていきましょう。 ○ヒデキの行動や思いについて、どんなところが問題になるでしょう。 ○中学生たちに囲まれたとき、ヒデキはどう思ったでしょう。 ○このようなことが起こらないためには、ヒデキはどう考えて行動すればよかったですか。 ○それぞれの場面の行動や思いについて、どんなところが問題になるでしょう。 ○このようなことが起こらないためには、どう考えて行動すればよかったですか。 ○危険を避けて自分を守るためには、どんな心構えをもつことが大切でしょう。 ○最近起きた小・中学生が巻き込まれた事件を紹介する。</p> <p>-----</p> <p>【参考指導案】 ○身の危険を感じたことがありますか。 ○ヒデキはこのあと、どうすると思いますか。 ○このようなことが起こらないためには、ヒデキはどう考えて行動すればよかったですか。 ○場面ごとに何が問題か考えてみましょう。 ○危険を避けて自分を守るためには、どんな心構えをもつことが大切でしょう。 ○小学生が巻き込まれた事件の内容について聞かせる。</p>		1
	29	二十五人でつないだ金メダル	C よりよい学校生活, 集団生活の充実	集団での役割	<p>社会や集団にはさまざまな役割があり、注目されるものもそうでないものもある。なかには、誰も知らないが大切な役割もある。そのことに気づき、自分の役割をしっかりと果たそうとする心情を育てる。</p> <p>○自分の役割を果たそうと、頑張ったことはありますか。 ○西方さんは、テストジャンパーの依頼をどんな思いで聞いたでしょう。 ○原田選手が自分のアンダーシャツを身に着けているのを見て、「そうか。そうだったんだ……。」と熱い思いが込み上げたとき、西方さんはどんなことを考えたでしょう。 ○西方さんは、自分がジャンプを決めたとき、メダルを取ったわけでもないのに、なぜ、ガッツポーズをしたのでしょうか。 ○西方さんの心に長野の金メダルがずっしりと重く残っているのは、どんな思いからでしょう。 ○集団の中のさまざまな役割について、どのように考えることが大切でしょう。 ○西方さんからのメッセージを見ましょう。</p>		1
	30	ブランコ乗りとピエロ	B 相互理解, 寛容	広く受け入れる心	<p>サムを憎む気持ちが消え、穏やかにサムを見つめるピエロの気持ちを考えることで、自分と異なる考えや意見を尊重し、大切にしようとする態度を養う。</p> <p>○自分と意見や考えが合わない人に対して、どんなことを思いますか。 ○ゲートのカーテンの間から、演技をやめようとするサムを見上げていたピエロは、どんなことを考えていたのでしょうか。 ○ピエロの心の中からサムを憎む気持ちが消えたのは、どんな考えからでしょう。 ○ピエロの手をゆっくり取り、固く握手を交わしたサムは、どんな思いだったのでしょうか。 ○広く受け入れる心をもつためには、どんな考えが大切でしょう。 ○自分とは異なる考えや意見を受け入れることで、よりよい成果が得られた教師の体験談を聞かせる。</p>		1

月	教材名	指導内容	主題名	ねらい	主な発問	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	学校での授業時数(23時間)	
2月	31	わたしのせいじゃない	C 公正, 公平, 社会正義	いじめを たち切る正義	「わたしのせいじゃない」と言っている子どもたちの考えから、いじめに対する傍観者としての無責任な気持ちがいじめを生んでいることを理解し、いじめを断ち切るために社会正義を貫こうとする態度を養う。	<p>○いじめを見たとき、どんな気持ちになりますか。</p> <p>○いじめの「原因」は何だったのか、考えてみましょう。さらに、いじめを断ち切ることでできなかった14人には、どんな心が足りなかったのでしょうか。</p> <p>◎この学級のいじめを止めるために、あなたなら①～⑭の誰にどのように話し掛けますか。</p> <p>○自分で考えた「いじめの止め方」をグループで発表し合い、交流しましょう。</p> <p>○学級全体でいじめをなくすために大切な考えを見つけましょう。</p> <p>○身近にある「不公平」や「差別」に対して、あなたはどのように立ち向かっていきたいですか。</p> <p>○いじめなどに関する作文を教師が範読する。</p> <hr/> <p>【参考指導案】</p> <p>○いじめについて、どう考えますか。</p> <p>○「泣いている子」は、今、どんな気持ちでしょうか。</p> <p>○「たたいた子」には、どんな思いがあったのでしょうか。</p> <p>◎「見ている子」には、どんな思いや考えがあったのでしょうか。</p> <p>○口々に「わたしのせいじゃない」と言ういじめている子たちは、どんな気持ちなのでしょう。</p> <p>○身近にある「差別」や「不公平」に対して、あなたはどのように立ち向かっていきたいですか。</p> <p>○いじめなどに関わる作文を教師が範読する。</p>		1
	32	iPS細胞の向こうに	A 希望と勇気, 努力と強い意志	終わりになき ちようせん	山中さんのiPS細胞研究に対する姿勢から、より高い目標を立てて、それに向けてくじけずに希望と勇気をもって努力していこうとする心情を育てる。	<p>○くじけず努力してやり抜いてよかった経験を発表しましょう。</p> <p>○指導する医師から邪魔者扱いされているとき、山中さんはどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>○研究を続ける決意を固めたのは、山中さんのどんな思いからでしょう。</p> <p>○研究が実を結び、iPS細胞作りが成功したとき、どんな気持ちだったでしょう。</p> <p>◎山中さんが「成功＝完成ではない。」と考えているのは、どんな思いからでしょう。</p> <p>○諦めずにやり抜くには、どんな心構えが大切なのでしょう。</p> <p>○困難を乗り越えて、努力したことにより達成感を得た教師の体験談を聞かせる。</p>		1
	33	消えた本	C 規則の尊重	たいせつな義務	義務にはきちんとした理由があることを知り、義務を果たさなければ社会生活のどこかに無理が生じることに気づくことで、自他の権利を大切に、義務を果たそうとする心情を育てる。	<p>○「権利と義務」という言葉からどんなことを想像しますか。</p> <p>○本を予約したあずさは、どんな気持ちで順番を待っていたでしょう。</p> <p>○2万冊の本がなくなっていることを知り、あずさはどんな気持ちになったでしょう。</p> <p>◎あずさは、どんなことを考えながら大急ぎで本を返しに行ったのでしょうか。</p> <p>○みんなが大切にしたい「権利と義務」について考えてみましょう。</p> <p>○「権利と義務」について振り返りながら、考えましょう。</p> <p>○今日の学習を通して、考えたこと、思ったこと、学んだことをまとめましょう。</p>		1
3	34	最後のおくり物	B 親切, 思いやり	深い思いやり	ロベエヌがジョルジュじいさんからしてもらったことを通して、親切にされる側はもちろん、相手の立場になって親切にする側にも喜びがあることに気づき、進んで思いやりをもち、親切にしようとする心情を育てる。	<p>○親切にされて、心が温かくなった経験を発表しましょう。</p> <p>○「せっかくここまできたのに……。」ロベエヌはどのような気持ちで思わず唇をかんだのでしょうか。</p> <p>○ロベエヌはどのような思いから「ぼくがつきそいます。むすこなんです。」と言ったのでしょうか。</p> <p>◎手紙を読んで涙を流すロベエヌの思いを考えましょう。</p> <p>○思いやりのすばらしさとは、どのようなところでしょうか。</p> <p>○親切にしてよかった体験を話す。</p>	<p>1 親切にされて、心が温かくなった経験を思い浮かべる。</p> <p>2 教材「最後のおくり物」(P162～)を読む。</p> <p>3 「せっかくここまできたのに……。」と思わず唇をかんだロベエヌの気持ちを考える。</p> <p>4 「ぼくがつきそいます。むすこなんです。」と言ったロベエヌの思いについて考える。</p> <p>5 手紙を読んで涙を流すロベエヌの思いについて考え、道徳ノートP35上段に書く。</p> <p>6 思いやりのすばらしさについて、自分の考えを道徳ノートP35下段に書く。</p>	

月	教材名	指導内容	主題名	ねらい	主な発問	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	学校での授業時数(23時間)
月	35 のぼさんの夢 —正岡子規—	D よりよく生きる喜び	夢をいただき 生きる喜び	結核に侵されながらも、自分の信念にしたがって前向きに生きた正岡子規の生き方に触れ、よりよく、気高く生きていこうとする心情を育てる。	○正岡子規の生き方から「生きる喜び」について考えてみましょう。 ○大きな夢を抱いて東京に出てきたのぼさんはどんなことを考えていたのでしょうか。 ○結核という病気に侵されたとき、のぼさんは、どんな気持ちになったのでしょうか。 ◎弟子たちは、正岡子規の生き方からどんなことを学んだのでしょうか。 ○「よりよく生きる」ということについて、学んだことや考えたことをまとめてみましょう。 ○教師自身が感動した人の生き方について紹介する。		1
ふ ろ く	① 自分にできること	C 勤労、公共の精神	公共のために 働くこと	被災地に派遣された島田さんの考え方の変化を通して、社会のために奉仕することの意義と喜びに気づき、進んで社会のために役に立とうとする態度を養う。	○ボランティア活動には、どのようなものがあるでしょう。 ○「お話を伺いますよ。」と声を掛けているとき、島田さんはどのような気持ちだったのでしょうか。 ○一生懸命にプリントに取り組む子どもたちを見て、島田さんはどのようなことを考えたのでしょうか。 ◎A市から帰る飛行機の中で、島田さんはボランティアについて、どんなことを考えていたでしょう。 ○ボランティアをするときに心得ておかなければならない大切な心は何でしょう。 ○新聞記事を活用し、ボランティア活動に貢献した人の話をする。		—
	② 創志くんと子牛	D 生命の尊さ	つながる生命	生命がかけがえのないものであることをあらためて認識し、生命が受け継がれ引き継いでいかねばならないものであることを理解し、命あるものを敬い、大切にしようとする心情を育てる。	○「つながる生命」と聞いて、どんなことを想像しますか。 ○牛の出産の様子を見つめながら、創志くんはどんなことを考えていたでしょう。 ○口蹄疫におそわれた畜産農家の人たちを支えた思いとは何でしょう。 ◎創志くんは、どんな思いで「子牛さん、また来るからね。」と言ったのでしょうか。 ○命あるものをつなげていくには、どんな思いや考えをもつことが大切なのでしょう。 ○教師の経験や見たこと、知ったことを話して聞かせる。		—
	③ 杉山の声を知る画家 —豊田三郎—	D 感動、畏敬の念	大自然への畏敬	自然やそれを描いた絵画などに触れ、それらの美しさを感じたまま素直に捉え、美しいものや気高いものに感動する心情を育てる。	○豊田三郎さんの絵を見て、みなさんはどのように感じますか。 ○「心で感じたものを、愛情をこめてえがいてほしい。」と言う豊田さんの気持ちを考えてみましょう。 ○豊田さんはどのような思いから絵を描く前に帽子を取って深々と頭を下げるのでしょうか。 ◎豊田さんが聞いた「杉の木たちの話し声」とは、どんな話し声なのでしょう。 ○自然の事物が話し掛けてくれたように感じたときのことを発表しましょう。 ○教師自身が、自然や美しいものに触れて、感動した経験などを語る。		—